

ひなたぼっこ通信

2019年
3月号

宅老所から

「改修工事」

宅老所と言えば「美味しいごはん」を思い浮かべる方も多いかと思えます。その「美味しいごはん」を作っているキッチンの改修工事が、二月に入ってから行われています。業者さんの出入りも増え、ご利用者様の皆さんにはご迷惑をおかけしております。

工事真っ最中の日には調理もできず、急ぎよお弁当を提供した日もありました。皆さん喜んでくださり「たまにはいいね」「暖かければ外で食べたかったね」と、突然のメニュー変更も楽しんでくださいました。

工事が終了し、グレードアップした宅老所がもう少しで完成します。改修後のキッチンが楽しみです。ね！

もうすぐ出来上がり！

ケアハウスから

「インフルエンザの流行」1階

お正月気分もすっかり消え去り、普段の生活に皆戻ったと思った頃、インフルエンザが大流行という事態となり対応に追われました。発熱した方や、インフルエンザと判明した入所者の方は居室にて食事をしていただき、しばらくはラジオ体操中止、出勤時の検温等、対策をしたおかげか感染者は入居者様一名、職員一名という結果で何とかやり過ごせました。

まだまだ寒くなるので安心は出来ませんが入所者の方がすこやかに毎日を過ごせるよう努力したいと思っています。(う)

「春、間近かな？」2階

一月下旬から二月初旬にかけて、インフルエンザが猛威をふるい、長野県内でもインフルエンザ警報が発令されました。ケアハウスでも面会制限、行事の中止を余儀なくされ、皆様にはご迷惑をおかけしました。そして多くの面でご協力をいただきありがとうございます。やっと二月十二日より制限が解除され、全体のラジオ体操ができたり、とくし丸による移動販売、美容院やマッサージなどが入りできるようになりました。

「とくし丸」の移動販売を、心待ちにしていた利用者様もいらっしゃり、やっといつもの光景が戻ってきました。とは言え、2月～3月にかけて、寒暖の差が激しく胃腸炎、B型インフルエンザの流行も考

えられます。引き続きマスク着用、手洗い、水分補給、換気などを心がけましょう。

富士見の三光寺や井戸尻では、寒紅梅の開花宣言があり、春はもうすぐそこまで来ています。(こ)

もうすぐ春みたいです。
ホーホケキョ・・・ケキョ
ケキョ・・・。



グループホームから

「ひなまつり」1階

最近の夕ご飯の時間には「だいぶ日が長くなっ たねえ。」とご利用者の方の声が聞こえる様になりました。まだ朝晩寒いですが、春に近づいた日中の陽気を知って頂きたく、食卓に菜の花や福寿草を飾りました。

そして、美しく華やかな七段飾りのお雛様も飾りました。

「きれいだわねえ」と見惚れる方や「鉛筆と紙をちょうだい。」と俳句を作る方。なかには「あかりをつけましょ、+ぼんぼりにゆ〜」と歌い出す方など、ご利用者の皆様の思いはさまざまです。先日にはヘアークットもして頂き、暖かい春の陽

気に外出出来るのを心待ちにしている皆さんです。

節分が終わればひな祭り！
ひな祭りが終われば春本番！



「節分・豆まき」2階

2月3日、グループホーム2階では、寒さにも負けず、窓を開けて、「鬼は外！福はうちー」の、元気で大きなかけ声のもと、節分の豆まきを行いました。豆まきの後、3時のお茶で、「わしは、81歳だけえど、81個も、食べられない」とか、「豆はすきだが、90も食べられんわ」と、年の数だけと行きたいところでしたが、ほどほどに、おいしく召し上がられました。一年をまめに暮らせるようにと祈る豆まきでした。

放課後等デイサービスから



「冬はそり遊びとか・・・」

「この冬はどうやら暖冬のようなようです。そして、雪も例年に比べて少な目ですね。放課後等デイサービスでは、雪に備えて年始めにそりを買いました。雪がふったら、子ども達に思う存分そり遊びを楽しませたいと考えたのです。」

しかし、雪はあまり降りませんでした。それで、雪のない日に公園にそりを持って行き、滑り台をそりで滑ったこともありました。これはこれで、なかなか面白かったです。普段のすべり台の数倍の滑りが楽しめて、子ども達には好評でした。ということですから、雪が降った日には「それっ」とばかりに、そり遊びに出かけました。



写真は、茅野の金沢公園の道路に残っていた雪で

のそり遊びです。そのほかにもひなたぼっこ近くの坂道でも、夕方でしたが、時間を惜しむように滑ったりもしました。

夏は水遊び、冬は雪遊び、これが子ども達の季節の遊びの代表格です。でも、もう今年はそりも終わりかも知れませぬね。

編集後記

2月の豆まきが終わり、ひな祭りを心待ちにしながら春を待つのが、日本人の習慣です。そうこうしているうちに桜の便りが聞かれるようになって、次第に心が浮き立ってきます。ふと気が付くと南向きの斜面には福寿草が咲くようになりました。お正月からこっち、どんと焼きをして節分、そしてひな祭り・・・どれも春に向けてのあこがれを演出しているように思います。春のあこがれを象徴するのが、やはり桜でしょう。高齢の方をお花見にお連れしたことがあります。「ああ、今年も桜を見られたわ。」と感慨を込めて言われた言葉を忘れることができません。

理事長 森 正明



T 3999 - 0211
富士見町富士見11650 - 1
TEL 0266 - 61 - 23365
FAX 0266 - 61 - 23366